



ZXHN F2886S
XGS-PON ONT
取扱説明書

Version: V2.4

法律情報

Copyright © 2019 ZTE CORPORATION.

この文書の内容は、著作権法および国際条約によって保護されています。ZTE CORPORATIONの書面による事前の同意なしに、この文書またはこの文書の一部をいかなる手段によっても複製または配布することは禁じられています。さらに、この文書の内容は契約上の守秘義務によって保護されています。

すべての会社名、ブランド名および製品名は、ZTE CORPORATION またはそれぞれの所有者の商標もしくは登録商標です。

ZTE CORPORATION およびその権利保有者は、ここに含まれる情報の使用またはそれに依存することに起因する損害について一切責任を負いません。

ZTE CORPORATION またはその権利保有者は、この文書の内容を対象とする、現在または未決の知的所有権または申請書を所有している可能性があります。ZTE CORPORATION とその権利保有者との間の書面によるライセンスで明示的に規定されている場合を除き、この文書のユーザーはここに記載された内容に対するライセンスを取得することはできません。

ZTE CORPORATION は、予告なくこの製品をアップグレードまたは技術的変更を行う権利を留保します。ユーザーはZTE テクニカルサポート Web サイト <http://support.zte.com.cn> にアクセスして関連情報を入手することができます。

この製品を解釈する最終的な権利はZTE CORPORATIONにあります。

Serial Number: SJ-20190325110241-005

Publishing Date: 2020-12-09 (R1.1)

目次

第1章	概要	1
1.1	安全に関する注意事	1
1.2	パッケージ内容	3
1.3	ハードウェアの説明	4
1.4	製品の機能	7
1.5	製品仕様	8
1.6	ケーブル接続	8
第2章	設定の準備	10
第3章	インターネットの設定	13
3.1	ネットワークインターフェースの確認	13
3.1.1	PON 情報の確認	13
3.1.2	WAN 接続状態の確認	14
3.2	セキュリティの設定	15
3.2.1	ファイアウォールレベルの設定	15
3.2.2	フィルタールールの設定	16
3.2.3	ローカルサービス制御の設定	24
3.2.4	ALG の設定	28
3.2.5	DMZ の設定	29
3.2.6	ポート転送の設定	30
3.2.7	ポートトリガーの設定	32
3.3	ペアレンタルコントロールの設定	34
3.4	SNTP の設定	36
第4章	LAN の設定	37
4.1	無線 LAN の設定	37
4.1.1	無線 LAN ステータスの確認	37
4.1.2	無線 LAN 基本設定	38
4.1.3	無線 LAN 拡張パラメータの設定	42
4.1.4	WPS の設定	44
4.2	LAN の設定	45
4.2.1	LAN ステータスの確認	45
4.2.2	LAN (IPv4) の設定	46
4.2.3	LAN (IPv6) の設定	50
4.3	UPnP の設定	55
4.4	DNS の設定	56
第5章	5. 管理と診断	58
5.1	デバイス管理	58
5.2	アカウント管理	59
5.3	診断とメンテナンス	61
5.3.1	ネットワーク診断	61
5.3.2	ループバック検出の設定	62
第6章	トラブルシューティング	65

6.1 用語集 66

第1章

概要

1.1 安全に関する注意事項

ご利用前に本安全に関する注意事項をお読みください。本安全注意事項以外の利用方法で事故が発生した場合は、原則免責とさせていただきます。

注意事項

- 本設備をご利用される前、安全注意事項に目を通してください。
- 同梱される電源アダプタ（AC アダプタ、電源コード）と LAN ケーブルをお使いください。
- AC アダプタとその電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。火災、感電の原因となります。
- 利用電圧は本設備の入力電圧を満たす必要があります（電圧フリッカ 10%以下）。
- 感電等の危険を防ぐため、電源プラグを清潔かつ乾燥に保ってください。
- 落雷による事故を防ぐため、雷雨時は必ず設備の電源プラグを抜いてください。
- 長時間設備を使用しない場合は、電源を切り、電源プラグを抜いてください。
- 本設備を分解しないでください。とりわけ通電したときは危険です。
- 視力保護のため、光ポートを直接目で見ないでください。
- 万が一、使用中に煙、異常な音、異常な匂い等が出た場合、すぐに本製品の AC アダプタをコンセントから抜いてください。サービス提供元が指定するお問い合わせ先にご連絡ください。

使用環境

- 日光直射を避け、本設備を通気性良好な場所に設置してください。
- 本製品を乾燥している場所に設置し、浸水をさけてください。
- 本製品の上にはものを重ね置きしないでください。圧力による破損の恐れがあります。
- 熱源、水周りの近くに設置しないでください。
- 本製品設置時は電気製品・AV・OA 機器などの磁気を帯びている場所や電磁波が発生している場所（電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など）を避けてください。



1.2 パッケージ内容

表 1-1 の部品が同梱されていることをご確認ください。

表 1-1 パッケージ内容

名称	数量
ZXHN F2886S 本体	1
ZXHN F2886S スタンド	1
電源アダプタ	1
RJ-45 ケーブル	1
ZXHN F2886S 簡易ユーザーガイド	1
SSID label	1



Note

このリストは参考用です。実際の内容はリストと異なる場合があります。

パッケージに含まれるアイテムのいずれかが正しく同梱されていない（紛失、または破損している）場合は、サービスプロバイダにご連絡ください。製品交換のためには、パッケージと部品の保護をお願いします。

1.3 ハードウェアの説明

LED 表示

図 1-1 は ZXHN F2886S ユニットの前面パネルにあるインジケータを示しています。

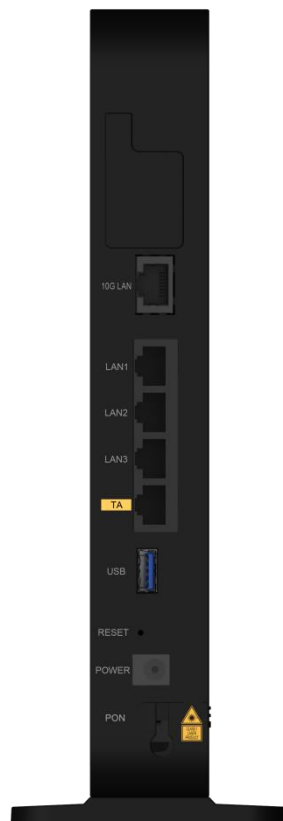
図 1-1 前面パネルの表示



インターフェース

図 1-2 はユニットのポートとボタンを示しています。

図 1-2 背面ポートとボタン



ユニットのポートとボタンの説明については、表 1-3 を参照ください。

表 1-2 背面ポートとボタンの詳細

インターフェース/ボタン	説明
10G LAN LAN1- LAN3	RJ-45 ケーブル経由でデバイスを別のイーサネットデバイスに接続するために使用されるイーサネットインターフェースです。
TA	RJ-45 ケーブル経由でデバイスを IP 電話に接続するために使用される IP 電話インターフェースです。
USB	標準 USB 3.0 インターフェースです。
Reset	デバイスが起動中に使用するリセットボタン <ul style="list-style-type: none"> ● 細い針を使用して、穴の内側にあるキーを 5 秒以上押し続けると、デバイスが工場出荷時のデフォルト設定に戻ります。 ● 細い針を使って穴の内側にあるキーを 1 秒間押し、その後キーを放すとデバイスが再起動します。設定は失われません。

ZXHN F2886S XGS-PON ONT 取扱説明書

POWER	12 V DC 電源コネクタ
PON	XGS-PON インターフェース
2.4G/5G*	ボタンを押して、2.4GHz / 5GHz の周波数帯でワイヤレスネットワークをオンまたはオフにします。
WPS*	WIFI 保護設置機能ボタン、0.4 秒以上 WPS ボタンを押すことで、WPS 機能を有効にできます。
Z-WAVE*	使用可能な Z-WAVE アプリケーションが存在しない場合、Z-WAVE 機能と LED は有効にはなりません。 Z-WAVE アプリケーションが使用可能な場合、ONU の電源がオンになった後に Z-WAVE ボタンを押すと LED が点灯します。もう一度押すと LED が消灯します。

*2.4G / 5G ボタン、WPS ボタン、Z-WAVE ボタンは ZXHN F2866S デバイスの前面にあります。

1.4 製品の機能

インターフェース機能

- XGS-PON インターフェース: ITU-T G.9807 および ITU G.988 規格に準拠した SC / UPC および SFP +光インターフェースをサポートします。
- Ethernet インターフェース: IEEE 802.3 規格に準拠した1つの10GE インターフェースと4つの自動検出100/1000 Mbps インターフェースです。
- 無線 インターフェース: 2.4 GHz および5 GHz 周波数帯をサポートします。内蔵アンテナを提供します。
- USB インターフェース: 標準 USB 3.0 インターフェースをサポートします。

技術機能

- ワイヤレス機能
無線機能を有効または無効にし、複数のSSIDと仮想AP、自動および手動のチャンネル選択可、WPS 2.0仕様、2.4 GHzと5 GHzの周波数帯域をサポートします。
- データ応用機能
IPv4とIPv6、データ転送とルーティング、DNSとDDNSなどの機能をサポートします。
- QoS 機能
サービス制御、サービスフロータギング、キュースケジューリング、フロー分類ポリシー、速度制限ポリシー、および帯域幅保証などの機能をサポートします。
- セキュリティ管理機能
ファイアウォール、データパケットフィルタリング、アクセス制御などの機能をサポートします。
- 構成管理機能
複数の管理方法を使用して構成の保守をサポートし、HTTPベースのローカルWeb管理とOMCIベースのリモート管理を含むトラブルシューティングとネットワーク管理をサポートします。

1.5 製品仕様

ZXHN F2886S の製品仕様の説明については、表 1-4 を参照してください。

表 1-3 製品仕様

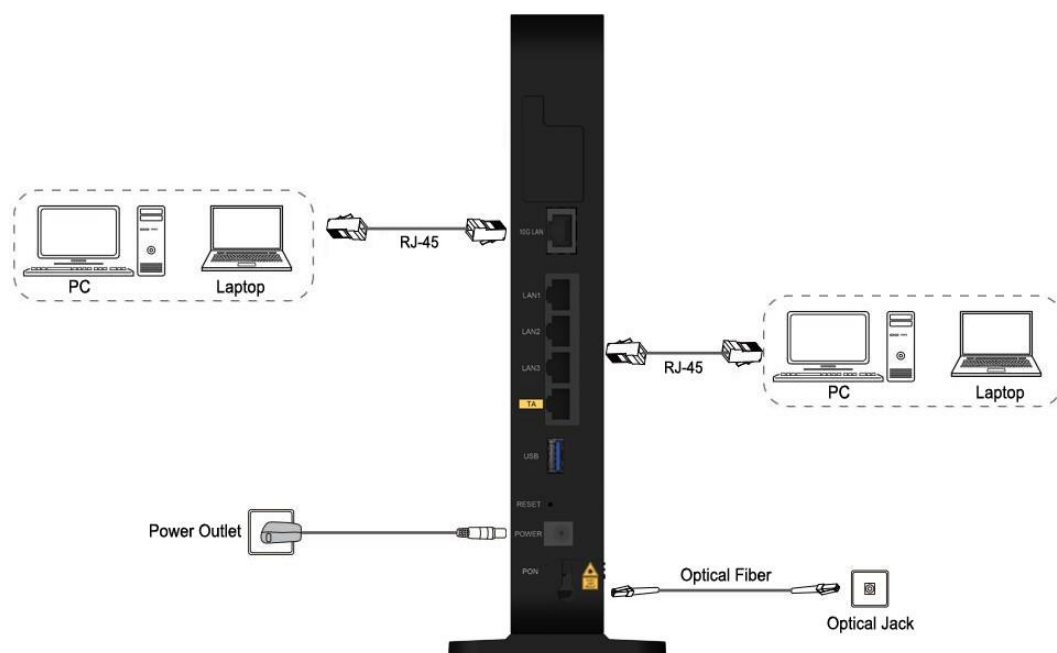
技術仕様	
外観寸法	238 mm (W) × 239 mm (H) × 36mm (D) (スタンド部分を含む)
電源アダプタ	出力電圧, 電流: DC 12 V, 3 A 入力電圧: AC 100 V - 240 V, 50 Hz/60 Hz
環境要件	
動作温度	0 ° C to 40 ° C
操作湿度	5% - 95% (非結露)

1.6 ケーブル接続

本設備は、10 GE インターフェースまたは Wi-Fi インターフェースを介して、ホームユーザーおよび小規模ビジネスユーザーに XGS-PON アップリンク光アクセスおよび内部ネットワーク機能を提供します。

図 1-3 は、ZXHN F2886S に接続されているデバイスを示しています。

図 1-3 接続全体



ケーブルを正しく接続し、オン/オフボタンを押します。POWER LED が点灯し、他の LED が正常に動作したら、サービスが使用できます。

ワイヤレスネットワークのカバレッジ範囲に影響する要因には、本製品の場所、製品とワイヤレス端末間の距離、障害物の数、障害物の材質と密度、干渉源が含まれます。ワイヤレス信号の強度を最大にするために、次の原則に従って製品を配置することをお勧めします。

- 製品は、無線信号の伝播に影響を与える物体、たとえば金属物体や鏡などの反射率の高い物体から遠ざけておく必要があります。
- 電子レンジ、冷蔵庫、ワイヤレスルーター、コードレス電話、Bluetooth 製品など、強力な磁場または電界のある電気製品から本製品を遠ざけてください。
- 製品は、適用エリアと同じフロアに設置する必要があります。
- 製品の上に他の物を置かないでください。製品と無線端末の間の障害物の数を減らすようにしてください。
- 製品を適用エリアの中央に水平に置き、角に置かないでください。
- 製品を水平に置いたまま高い位置に置かないでください。推奨される高さは 1.2~1.5 メートルです。

第2章

設定の準備

このマニュアルでは、ZXHN F2886S のログイン方法を説明するための例として、Windows オペレーティングシステムを使用しています。

前提

コンピュータから ZXHN F2886S にログインするには、コンピュータの IP アドレスを設定してコンピュータの IP アドレスと ZXHN F2886S のメンテナンス IP アドレスを同じネットワークセグメントに所属させる必要があります。

ZXHN F2886S のデフォルトメンテナンス情報は以下のとおりです。

- IP address: 192.168.1.1
- Subnet mask: 255.255.255.0
- Gateway: 192.168.1.1

手順


1. イーサネットケーブルを使用してローカルコンピュータと ZXHN F2886S の空いている LAN インターフェースを接続します。
2. ローカルコンピュータで、[ローカルエリア接続]をダブルクリックし、[プロパティ]をクリックします。[ローカルエリア接続のプロパティ]ダイアログボックスが表示されます。
3. インターネットプロトコル (TCP / IP) をダブルクリックします。[インターネットプロトコル (TCP / IP) のプロパティ]ダイアログボックスが表示されます。IP アドレスを 192.168.1.200、サブネットマスクを 255.255.255.0、デフォルトゲートウェイを 192.168.1.1 に設定します。
4. OK. をクリックします。
5. コンピュータの IP アドレスが設定されたら、Ping コマンドを実行して IP アドレス 192.168.1.1 に ping を実行します。ping 操作が成功した場合は、TCP / IP 設定が正しいこと、およびコンピュータが ZXHN F2886S を開くために正しく接続されていることを示します。  2-1.

図 2-1 Ping ページ

```
C:\WINDOWS\system32\cmd.exe


C:\Documents and Settings\Administrator>ping 192.168.1.1

Pinging 192.168.1.1 with 32 bytes of data:

Reply from 192.168.1.1: bytes=32 time<1ms TTL=64
Reply from 192.168.1.1: bytes=32 time<1ms TTL=64
Reply from 192.168.1.1: bytes=32 time<1ms TTL=64
Reply from 192.168.1.1: bytes=32 time<1ms TTL=64

Ping statistics for 192.168.1.1:
    Packets: Sent = 4, Received = 4, Lost = 0 (0% loss),
    Approximate round trip times in milli-seconds:
        Minimum = 0ms, Maximum = 0ms, Average = 0ms

C:\Documents and Settings\Administrator>_
```

Internet Explorer を開き、アドレスバーに” https://192.168.1.1 ” と入力します。
Enter キーを押してください。ログインページが表示されます。  2-2.

 2-2 ログインページ



The image shows a login page for the F2886S device. At the top left is a padlock icon. The main heading reads "ようこそF2886Sへ。ログインしてください。" (Welcome to F2886S. Please log in.). Below this are two input fields: "ユーザー名" (Username) and "パスワード" (Password). A blue "ログイン" (Login) button is located at the bottom right of the form.

6. ユーザー名とパスワードを入力して[ログイン]をクリックします。ホームページが表示されます。図 2-3

図 2-3 ホームページ



7. 機器情報を確認してください。管理&診断>ステータスを選択します。このページは、ハードウェアのバージョンとソフトウェアのバージョンが正しいかどうかを示します。図 2-4 を参照ください。最新の情報を取得するには、[現在の状態を表示]をクリックします。

図 2-4 デバイス情報

▼ デバイス情報

デバイスタイプ	F2886S
デバイスのシリアル番号	94BF80-08100DF8
パッチ番号	07e5P1T1033f
ハードウェアバージョン	V1.0
ソフトウェアバージョン	V1.0.10P3T10
ブートバージョン	V1.0.10T7

現在の状態を表示

第3章


インターネットの設定

3.1 ネットワークインターフェースの確認

3.1.1 PON 情報の確認

ZXHN F2866S デバイスの PON 情報には、GPON 状態、入力電力、出力電力、動作温度、動作電圧、および動作電流が含まれます。

手順

1. 画面左ナビゲーションツリーでインターネット>ステータス>PON 情報 を選択して、PON 情報 ページを開きます。  3-1

3-1 PON 情報

▼ PON情報

ONU ID	1023
ONU状態	初期状態(o1)
光モジュール入力パワー (dBm)	--
光モジュール出力パワー (dBm)	--
光モジュール供給電圧 (mV)	3265
光送信器のバイアス電流 (mA)	0
光モジュールの動作温度 (°C)	32.062

現在の状態を表示

2. 最新の情報を確認するには、[現在の状態を表示]をクリックします。

3.1.2 WAN 接続状態の確認

WAN 接続ステータス メニュー項目を使用して、IP アドレス、接続名などを含む WAN 接続のステータスを確認できます。PON 接続ステータス情報は、PON 接続が作成されたときにのみ表示されます。

手順


1. 画面左ナビゲーションツリーでインターネット>ステータス>WAN 「WAN 接続状態」ページを開きます。  3-2

図 3-2 WAN 接続ステータス

接続名	omci_ipv4_dhcp_1
タイプ	IP
IPバージョン	IPv4/v6
NAT	オン
IPアドレス	10.46.55.194/255.255.255.192
DNSアドレス	10.46.56.246/10.46.57.122/0.0.0.0
IPv4ゲートウェイ	10.46.55.193
リース残時間	0 時 50 分 18 秒
IPv4接続ステータス	接続済み 更新 リリース
IPv4オンライン期間	0 時 9 分 42 秒
切断理由	なし
LLA	fe80::82b0:7bff:fe7f:e64a
GUA	f:11:0:201:82b0:7bff:fe7f:e64a
DNSアドレス	c::2/bf::2/::
IPv6ゲートウェイ	fe80::ce1a:faff:fee9:e762
IPv6接続ステータス	接続済み
IPv6オンライン期間	0 時 9 分 42 秒
WAN MAC	80:b0:7b:7f:e6:4a

現在の状態を表示

2. 最新の情報を確認するには、[\[現在の状態を表示\]](#)をクリックします。

3.2 セキュリティの設定

3.2.1 ファイアウォールレベルの設定

このセクションでは、ファイアウォールレベルの設定方法を説明します。

手順

ファイアウォールの設定

1. ZXHN F2886S のメインページで インターネット > セキュリティ > ファイアウォールを選択して、ファイアウォールのページを開きます。図 3-3

図 3-3 ファイアウォール

ページ情報

このページには、ファイアウォールパラメータの設定機能があります。

▼ ファイアウォール

[ファイアウォールレベルを設定する際に注意すべき点は何ですか？](#)

セキュリティレベル 高
 低
 オフ (推奨しません)

アンチハッキング

設定
キャンセル

2. パラメータを設定する。各パラメータの詳細は表 3-1 を参照ください

表 3-1 ファイアウォールパラメータの説明

パラメータ	説明
セキュリティレベル	<ul style="list-style-type: none"> ● 高：PING リクエストを含め、外部からの不正アクセスを防ぎます。 ● 低：外部からの不正アクセスを防ぎます。ただし、PING リクエストは許可します。 ● オフ（推奨しません）：ファイアウォールを無効にします。
アンチハッキング	ハッキング防止対策を有効にし、インターネット攻撃によるデバイスのシャットダウンを防止するには、このチェックボックスをオンにします。この機能により、ping フラッド、ping of death 攻撃、および SYN フラッド攻撃を防ぐことができます。

3. 変更を適用するには、[設定] をクリックします。

3.2.2 フィルタルールの設定

このセクションでは、フィルタルールを設定する方法について説明します。

手順

フィルタスイッチとモードの設定

1. ZXHN F2866S 装置のメインページで **インターネット** > **セキュリティ** > **パケットフィルタ設定** を選択します。
2. **フィルタスイッチとモード設定** をクリックして、設定のページを開きます。 [図 3-4](#)

図 3-4 フィルタスイッチとモード設定

▼ フィルタスイッチとモード設定

3. フィルタスイッチとモード設定パラメータを設定します。 [表 3-2](#) .

表 3-2 フィルタスイッチとモード設定パラメータの説明

パラメータ	説明
MAC フィルタスイッチ	オンを選択すると、MAC フィルタ機能が有効になります。
MAC フィルタモード	MAC フィルタ機能を有効にします。 2つのモードがある。 ● ブラックリスト ● ホワイトリスト
URL フィルタスイッチ	オンを選択すると URL フィルタ機能が有効になります。
URL フィルタモード	URL フィルタ機能を有効にします。 2つのモードがあります。 ● ブラックリスト ● ホワイトリスト

4. 変更を適用するには、**[設定]** をクリックします。

MAC フィルタの設定

1. **MAC フィルタ** をクリックして、**MAC フィルタ** ページを開きます。  3-5

 3-5 MAC フィルタ

▼ MACフィルタ

▼ 新項目 🗑️

名前

タイプ

プロトコル

送信元MACアドレス
関連するデバイスから選択する。

+ 新しいアイテムを作成する

2. 表 3-3 に MAC フィルタのパラメータを一覧します。

表 3-3 MAC フィルタパラメータの説明

パラメータ	説明
名前	MAC フィルタの名前です。 長さ:1~32
タイプ	フィルタする方法です。 デフォルト:ルーティング
プロトコル	データ・ストリームのプロトコルです。 オプション: IP および任意 デフォルト: 任意
送信元 MAC アドレス	フィルタが必要な MAC アドレスです。 MAC アドレスの設定は必要です。

3. 変更を適用するには、**〔設定〕** をクリックします。

URL フィルタの設定

1. URL フィルタ をクリックして、URL フィルタ ページを開きます。 図 3-6.

図 3-6 URL フィルタ

▼ URLフィルタ

▼ 新項目 🗑️

名前

URL

設定 キャンセル

+ 新しいアイテムを作成する

2. 表 3-4 に URL フィルタのパラメータを一覧します。

表 3-4 URL フィルタパラメータの説明

パラメータ	説明
名前	URL フィルタの名前です。
URL	フィルタする Web サイトを入力します。

3. 変更を適用するには、**〔設定〕** をクリックします。

IP フィルタ - IPv4 の設定

1. IP パケットフィルタ-IPv4 をクリックして、IPv4 フィルタページを開きます。図 3-7

図 3-7 IPv4 フィルタ

▼ IPパケットフィルタ - IPv4

2. 表 3-5 に IPv4 フィルタのパラメータを一覧します。

表 3-5 IPv4 フィルタのパラメータ一覧

パラメータ	説明
オン/オフ	IPv4 フィルタ機能を有効（オン）または無効（オフ）にします。 デフォルト：オフ
名前	IP フィルタの名前を設定します。 名前の入力必須です。 文字数：1 ～ 32
モード	許可：フィルタエントリに合致した IPv4 パケット通信をさせます。 破棄：フィルタエントリに合致した IPv4 パケット通信をさせません。 デフォルト：許可

優先度	<p>フィルタの優先度を設定します。1 ～ 20 まで選択可能。</p> <p>※フィルタエントリは最大 20 個設定できます。</p> <p>※エントリが複数ある場合、優先度の数字の小さいエントリから優先します。</p> <p>※優先度が重なった場合、新しく設定したルールが適用され、以前設定されていたルールの優先度数字が1つ大きくなります。</p> <p>デフォルト：1</p>
プロトコル	<p>パケットをフィルタリングする対象のプロトコルを選択します。</p> <p>TCP：TCP をフィルタリングします。</p> <p>UDP：UDP をフィルタリングします。</p> <p>TCP と UDP：TCP と UDP をフィルタリングします。</p> <p>ICMP：ICPM をフィルタリングします。</p> <p>任意：IPv4 パケットすべてを処理します。</p> <p>デフォルト：TCP</p>
送信元ポート範囲/ 宛先ポート範囲	<p>送信元ポートの範囲/宛先ポートの範囲です。</p> <p>フィルタ条件を実際状況に応じて設定します。オプションのパラメータですので、空欄にしておくこともできます。</p> <p>範囲：1～65535</p>
送信元 IP 範囲/ 宛先 IP 範囲	<p>送信元 IP 範囲/宛先 IP 範囲です。</p> <p>フィルタ条件を実際状況に応じて設定します。オプションのパラメータですので、空欄にしておくこともできます。</p> <p>範囲：1～65535</p>
対象インターフェース (in)	<p>データトラフィックの方向を指定します。対象インターフェース (in) のオプションと対象インターフェース (out) のオプションを同じにすることはできません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 対象インターフェース (in) が LAN なら、対象インターフェース (out) は WAN 接続となります。 <p>データトラフィックの方向はアップストリームとなります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 対象インターフェース (in) が WAN 接続なら、対象インターフェース (out) は LAN となります。 <p>データトラフィックの方向はダウンストリームとなります。</p> <p>デフォルト：任意</p>

対象インターフェース (out)	<p>データトラフィックの方向を指定します。対象インターフェース (in) のオプションと対象インターフェース (out) のオプションを同じにすることはできません。</p> <ul style="list-style-type: none">● 対象インターフェース (in) が LAN なら、対象インターフェース (out) は WAN 接続となります。 <p>データトラフィックの方向はアップストリームとなります。</p> <ul style="list-style-type: none">● 対象インターフェース (in) が WAN 接続なら、対象インターフェース (out) は LAN となります。 <p>データトラフィックの方向はダウンストリームとなります。</p> <p>デフォルト：任意</p>
---------------------	---

3. 変更を適用するには[設定]をクリックします。

IP フィルタ - IPv6 の設定

1. IP パケットフィルタ-IPv6 をクリックして、IPv6 フィルタページを開きます。 図 3-8.

図 3-8 IPv6 フィルタ

▼ IPパケットフィルタ - IPv6

▼ 新項目
○ オン ● オフ
🗑️

名前	<input type="text"/>		
モード	● 許可 ○ 破棄		
優先度	1 ▼		
プロトコル	TCP ▼		
送信元ポート範囲	<input type="text"/> ~ <input type="text"/>	<input type="checkbox"/> any	
宛先ポート範囲	<input type="text"/> ~ <input type="text"/>	<input type="checkbox"/> any	
送信元IPv6アドレス	<input type="text"/> / <input type="text"/>	<input type="checkbox"/> any	
宛先IPv6アドレス	<input type="text"/> / <input type="text"/>	<input type="checkbox"/> any	
対象インターフェース(in)	任意 ▼		
対象インターフェース(out)	任意 ▼		

設定
キャンセル

+ 新しいアイテムを作成する

▼ IPパケットフィルタ - IPv6

▼ 新項目
○ オン ● オフ
🗑️

名前	<input type="text"/>		
モード	● 許可 ○ 破棄		
優先度	1 ▼		
プロトコル	ICMPv6 ▼		
any	<input type="checkbox"/>		
Type	<input type="text"/>		
Code	<input type="text"/>		
送信元ポート範囲	<input type="text"/> ~ <input type="text"/>	<input type="checkbox"/> any	
宛先ポート範囲	<input type="text"/> ~ <input type="text"/>	<input type="checkbox"/> any	
送信元IPv6アドレス	<input type="text"/> / <input type="text"/>	<input type="checkbox"/> any	
宛先IPv6アドレス	<input type="text"/> / <input type="text"/>	<input type="checkbox"/> any	
対象インターフェース(in)	任意 ▼		
対象インターフェース(out)	任意 ▼		

設定
キャンセル

+ 新しいアイテムを作成する

2. 表 3-6 に IPv6 フィルタのパラメータを一覧します。

表 3-6 Ipv6 フィルタのパラメータ一覧

パラメータ	説明
オン/オフ	IPv6 フィルタ機能を有効（オン）または無効（オフ）にします。 デフォルト：オフ
名前	IP フィルタの名前を設定します。 名前の入力必須です。 文字数： 1 ～ 32
モード	許可：フィルタエントリに合致した IPv6 パケット通信をさせます。 破棄：フィルタエントリに合致した IPv6 パケット通信をさせません。 デフォルト：許可
優先度	フィルタの優先度を設定します。1 ～ 20 まで選択可能です。 ※フィルタエントリは最大 20 個設定できます。 ※エントリが複数ある場合、優先度の数字の小さいエントリから優先します。 ※優先度が重なった場合、新しく設定したルールが適用され、以前設定されていたルールの優先度数字が 1 つ大きくなります。 デフォルト：1
プロトコル	パケットをフィルタリングする対象のプロトコルを選択します。デフォルトは TCP です。 ICMPv6 が選ばれた場合、次のパラメータもサポートします。 任意： ICMPv6 プロトコルがフィルタ対象を意味します。 コード指定： 「Type」と「Code」にそれぞれ数値を入力します。
送信元ポート範囲/ 宛先ポート範囲	送信元ポート範囲：フィルタ対象とする IPv6 パケットの送信元ポート番号を設定します。 宛先ポート範囲：フィルタ対象とする IPv6 パケットの宛先ポート番号を設定します。 任意をチェック入れると、すべてのポートがフィルタ対象を意味します。
送信元 Ipv6 アドレス /宛先 Ipv6 アドレス	送信元 IP アドレス範囲：フィルタ対象とする IPv6 パケットの送信元 IP アドレスを設定します。 宛先 IP アドレス範囲：フィルタ対象とする IPv6 パケットの宛先 IP アドレスを設定します。 任意をチェック入れると、すべてのアドレスがフィルタ対象を意味します。

<p>対象インターフェース (in)</p>	<p>データトラフィックの方向を指定します。対象インターフェース (in) のオプションと対象インターフェース (out) のオプションを同じにすることはできません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 対象インターフェース (in) が LAN なら、対象インターフェース (out) は WAN 接続となります。 <p>データトラフィックの方向はアップストリームとなります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 対象インターフェース (in) が WAN 接続なら、対象インターフェース (out) は LAN となります。 <p>データトラフィックの方向はダウンストリームとなります。</p> <p>デフォルト：任意</p>
<p>対象インターフェース (out)</p>	<p>データトラフィックの方向を指定します。対象インターフェース (in) のオプションと対象インターフェース (out) のオプションを同じにすることはできません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 対象インターフェース (in) が LAN なら、対象インターフェース (out) は WAN 接続となります。 <p>データトラフィックの方向はアップストリームとなります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 対象インターフェース (in) が WAN 接続なら、対象インターフェース (out) は LAN となります。 <p>データトラフィックの方向はダウンストリームとなります。</p> <p>デフォルト：任意</p>


3. 変更を適用するには[設定]をクリックします。

3.2.3 ローカルサービス制御の設定

この手順では、ローカルサービス制御を設定する方法について説明します。

手順

サービス制御の設定-IPv4

1. ZXHN F2886S デバイスのメインページでインターネット > セキュリティ > ローカルサービスコントロール を選択して、IPv4 のサービス制御ページを開きます。  3-9.

 3-9 ローカルサービス制御-IPv4

▼ サービス制御 - IPv4

2. 表 3-7 にローカルサービス制御-IPv4 のパラメータを一覧します。

表 3-7 ローカルサービス制御-IPv4 パラメータの説明

パラメータ	説明
サービス制御-IPv4 スイッチ	サービス制御-IPv4 機能を有効（オン）または無効（オフ）にします。 デフォルト：オフ
名前	サービスコントロール項目名です。 名前の入力必須です。 長さ：1～32
モード	許可：フィルタエントリに合致した IPv4 パケット通信をさせます。 破棄：フィルタエントリに合致した IPv4 パケット通信をさせません。 デフォルト：許可
対象インターフェース (in)	データ・ストリームをインバウンドとします。このパラメータは必須です。 対象インターフェース (in) が WAN なら、WAN から ZXHN F2886S にアクセスできます。 対象インターフェース (in) が LAN なら、LAN 経由で ZXHN F2886S にアクセスできます。 デフォルト：WAN
IP 範囲	フィルタが必要な IP アドレスセグメント。 IP セグメントが null の場合、全ての IP アドレスが参照されます。
サービスタイプ	アクセスが許可または拒否されるサービス指定します。

3. 変更を適用するには、[設定] ボタンをクリックします。

サービス制御の設定-IPv6

1. サービス制御-IPv6 を選択して、サービス制御-IPv6 のページを開きます。 図 3-10.

図 3-10 サービス制御-IPv6

▼ サービス制御 - IPv6

2. サービス制御-IPv6 パラメータを設定します。表 3-8 にサービス制御-IPv6 パラメータを一覧します。

表 3-8 サービス制御 IPv6 パラメータの説明

パラメータ	説明
サービス制御スイッチ	サービス制御-IPv6 機能を有効（オン）または無効（オフ）にします。 デフォルト：オフ
名前	サービスコントロール項目の名前です。 名前の入力必須です。 長さ：1～32
モード	許可：フィルタエントリに合致した IPv6 パケット通信をさせます。 破棄：フィルタエントリに合致した IPv6 パケット通信をさせません。 デフォルト：許可
対象インターフェース (in)	データ・ストリームをインバウンドとします。このパラメータは必須です。 対象インターフェース (in) が WAN なら、WAN から ZXHN F2886S にアクセスできます。 対象インターフェース (in) が LAN なら、LAN 経由で ZXHN F2886S にアクセスできます。 デフォルト：WAN
プレフィックス	IPv6 アドレスプレフィックスです。プレフィックスが空欄の場合、全てのプレフィックスをフィルタリングします。

サービスタイプ	アクセスが許可または拒否されるサービス指定します。
---------	---------------------------

3. 変更を適用するには、**〔設定〕** ボタンをクリックします。

3.2.4 ALG の設定

このセクションでは、ZXHN F2866S がセキュリティを強化するために、レイヤ4パケットのプライベート IP アドレスをパブリック IP アドレスに変換できるように ALG を設定する方法について説明します。

手順

1. ZXHN F2866S のメインページで **インターネット** > **セキュリティ** > **ALG** を選択し、**ALG** ページを開きます。 図 3-11.

図 3-11 ALG

▼ ALG (アプリケーションレイヤゲートウェイ)

FTP ALG	<input checked="" type="radio"/> オン <input type="radio"/> オフ
H323 ALG	<input checked="" type="radio"/> オン <input type="radio"/> オフ
IPSEC ALG	<input checked="" type="radio"/> オン <input type="radio"/> オフ
PPTP ALG	<input checked="" type="radio"/> オン <input type="radio"/> オフ
RTSP ALG	<input checked="" type="radio"/> オン <input type="radio"/> オフ
SIP ALG	<input checked="" type="radio"/> オン <input type="radio"/> オフ
TFTP ALG	<input checked="" type="radio"/> オン <input type="radio"/> オフ

すべてオン | すべてオフ

設定 キャンセル

2. ALG サービスを選択します。
3. 変更を適用するには[設定] ボタンをクリックします。

Note

- **全てオンをクリック**: 全ての ALG サービスをオンにします。
- **全てオフをクリック**: 全ての ALG サービスをオフにします。

3.2.5 DMZ の設定

このセクションでは、DMZ の設定方法について説明します。デバイスは、内部ネットワークサーバーにアクセス出来るよう、送信先 IP アドレスとポート番号を外部ネットワークアドレス(ネットワーク側)から内部のネットワークアドレス(ユーザ側)へ変換します。

手順

1. ZXHN F2886S のメインページで **インターネット > セキュリティ > DMZ** を選択して、**DMZ** ページを開きます。 [図 3-12](#)。

図 3-12 DMZ

▼ DMZ-IPv4



DMZ オン オフ

WAN接続

DMZホストのIPアドレス

2. 表 3-9 に DMZ パラメータを一覧します。

表 3-9 DMZ パラメータ

パラメータ	説明
DMZ	DMZ ホスト機能を有効または無効にします。
WAN 接続	ポート転送の為に IPv4 WAN 接続です。
DMZ ホストの IP アドレス	LAN 側のコンピュータまたはワイヤレスデバイスの MAC アドレスまたは IP アドレスです。

3. 変更を適用するには **〔設定〕** ボタンをクリックします。

3.2.6 ポート転送の設定

このセクションでは、外部ネットワークからのコンピュータが WAN 接続を介して LAN 側サーバーにアクセスできるようにポート転送を設定する方法を説明します。ポート転送ではポート転送の設定に必要なパラメータを提供します。

複数のサービス用のローカルサーバーがあり、それらをパブリックにアクセス可能にしたい場合は、ポート転送ポリシーを指定する必要があります。NAT を適用する事で、これらサーバーの内部 IP アドレスをインターネット上でユニークな単一の IP アドレスに変換します。インターネットユーザーにとって、LAN 上のすべての仮想サーバーは同じ IP アドレスを持ちます。この IP アドレスは ISP によって割り当てられます。インターネットユーザーにサーバー接続を容易にする為、このアドレスは動的ではなく静的である必要があります。但し、インターネットユーザーが IP アドレスの代わりに URL を使って仮想サーバーにアクセスできるように、動的 DNS を使用することができます。

手順

1. ZXHN F2886S のメインページでインターネット > セキュリティ > ポート転送を選択して、ポート転送ページを開きます。 図 3-13

図 3-13 ポート転送

▼ ポート転送

[ポート転送を設定する際に注意すべき点は何ですか？](#)

▼ 新項目 オン オフ

名前

プロトコル

WAN接続

WAN側ホストのIPアドレスの範囲 ~

LAN側ホスト

WANポート ~

LANホストポート ~

2. ポート転送パラメータを設定します。表 3-10 にポート転送の設定パラメータを一覧します。

表 3-10 ポート転送パラメータ

パラメータ	説明
ポート転送スイッチ	ポート転送機能を有効または無効にします。
名前	仮想ホスト名、null にする事はできません。
プロトコル	プロトコル名 (TCP と UDP を含む) です。 デフォルト : TCP
WAN 接続	ポート転送の為に IPv4 WAN 接続です。
LAN 側ホスト	LAN 側ホストの IPv4 アドレス、又は MAC アドレスです。
WAN ポート	WAN 側ホストのポートセグメントです。 範囲: 1 ~ 65535
LAN ホスト ポート	LAN 側ホストのポート番号です。 範囲: 1 ~ 65535

3. 変更を適用するには、**[設定]** ボタンをクリックします。

 **Note**

- この機能により、ユーザーは WAN 側から LAN 側の仮想ホストにアクセスすることができます。
 - ポート転送を使用することにより、WAN 側から割り当てられた IP とポート間のホストへのアクセスは、LAN 側の 1 つのホストに転送されます。
-

3.2.7 ポートトリガーの設定

このセクションでは、ポートトリガーの設定方法について説明します。ポートトリガーはポートトリガー設定に必要なパラメータを提供します。

1つのポートがトリガポートになるように構成されている場合、もし一つのアプリケーションが、このトリガポートを外部との接続をセットアップする為に使用していれば、ZXHN F2886S デバイスはその外部接続を内部送信のポートを開くために転送します。

ポートトリガーは、ポートを保護するために使用されます。システムはこれらのポートがトリガーされていない限り、これらのポートをオープンする事はありません。

手順

1. ZXHN F2886S のメインページでインターネット > セキュリティ > ポートトリガー を選択して、ポートトリガー ページを開きます。 図 3-14.

図 3-14 ポートトリガー

▼ ポートトリガー

▼ 新項目 ○ オン ● オフ 🗑️

名前	<input type="text"/>
トリガーIP アドレス	<input type="text" value="0"/> <input type="text" value="0"/> <input type="text" value="0"/> <input type="text" value="0"/>
サービスタイプ	TCP ▼
トリガーポート	<input type="text"/>
接続タイプ	TCP ▼
WANポートの範囲	<input type="text"/> ~ <input type="text"/>
タイムアウト	1200 秒

設定 キャンセル

+ 新しいアイテムを作成する

2. ポートトリガーのパラメータを設定します。表 3-11 にポートトリガーのパラメータを一覧します。

表 3-11 ポートトリガーパラメータ

パラメータ	説明
ポートトリガスイッチ	ポートトリガー機能を有効または無効にします。
名前	ポートトリガーの名前です。
トリガーIP アドレス	LAN 側のコンピュータの IP アドレスです。
サービスタイプ	TCP, UDP 及び TCP AND UDP を含むアプリケーションのサービスタイプです。 デフォルト: TCP
トリガポート	アプリケーションで使用するポートです。
接続タイプ	外部への接続に使用される接続タイプ。TCP, UDP と、TCP と UDP を含みます。 デフォルト: TCP
WAN ポート範囲	トリガポートマップ上のデバイスプロトコルのポート範囲を指定します。 (パケットのレイヤ 4 のポート番号) デバイスがトリガポートにアクセスするとスタートポートとエンドポートのサービスが有効になります。 WAN のスタートポートと WAN エンドポートは次の条件を満たす必要があります。 <ul style="list-style-type: none"> ● エンドポートの番号はスタートポートの番号より大きいです。 ● 終了ポート番号と開始ポート番号の差は 9 未満です。
タイムアウト	トラフィックが発生しない時間です。 デフォルト: 1200. 範囲 60 ~ 1800

3. 変更を適用するには [設定] ボタンをクリックします。

3.3 ペアレンタルコントロールの設定

このセクションでは、ペアレンタルコントロールを構成する方法について説明します。

手順

1. ZXHN F2886S のメインページを開き インターネット > ペアレンタルコントロール を選択して、ペアレンタルコントロール ページを開きます。 図 3-15.

図 3-15 ペアレンタルコントロール

▼ ペアレンタルコントロール

2. ペアレンタルコントロールのパラメータを設定します。表 3-12 にペアレンタルコントロールのパラメータを一覧します。

表 3-12 ペアレンタルコントロールパラメータ

パラメータ	説明
オン/オフ	ペアレンタルコントロール機能を有効または無効にします。
名前	ペアレンタルコントロールの名前です。
ユーザー識別子	IP アドレスまたは MAC アドレスに従ってユーザー情報を設定します。 All user オプションを選択した場合、ZXHN F2886S デバイスを使用するすべてのユーザーが含まれます。
曜日	ペアレントコントロール設定が適用される日を指定します。
期間	ペアレントコントロール設定が適用される時間を指定します。
アクション	デバイスサポート： インターネットアクセスの禁止：インターネットアクセスは許可されません。 URL ブラックリスト このモードを選択すると、URL に設定されている Web サイトは除外され、アクセスできません。 URL ホワイトリスト このモードを選択すると、URL に設定された Web サイトにのみアクセスできます。 デフォルト：インターネットアクセスの禁止
URL	アクセスまたは拒否対象の URL アドレスです。 アクションで URL ブラックリスト、または URL ホワイトリストを選択すると、入力画面が表示されます。

3. 変更を適用するには [設定] ボタンをクリックします。

3.4 SNTP の設定

このセクションでは、SNTP の設定方法について説明します。SNTP は SNTP 設定機能のパラメータを説明します。

手順

1. ZXHN F2886S のメインページでインターネット > SNTP を選択して、SNTP ページを開きます。図 3-16.

図 3-16 SNTP

▼ SNTP

現在の日付と時刻	1970-01-01T00:13:46
プライマリNTPサーバ	<input type="text"/>
セカンダリNTPサーバ	<input type="text"/>
ポーリング間隔	86400 秒
DSCP	<input type="text"/>

2. SNTP パラメータを設定します。表 3-13 に SNTP パラメータを一覧します。

表 3-13 SNTP パラメータ

パラメータ	説明
プライマリ/セカンダリ NTP サーバー	プライマリ/セカンダリ NTP サーバーの IP アドレス。
ポーリング間隔	時間同期の間隔。単位：秒
DSCP	設定範囲：0 ~ 63.

3. 変更を適用するには [設定] ボタンをクリックします。

第4章

LAN の設定

4.1 無線 LAN の設定

4.1.1 無線 LAN ステータスの確認

このセクションでは無線 LAN ステータスの確認方法を説明します。

手順

1. ZXHN F2886S のメイン画面で **LAN > ステータス** を選択します。 **無線 LAN ステータス** をクリックし、**無線 LAN ステータス** ページを開きます。 図 4-1.

図 4-1 無線 LAN ステータス

▼ 無線LANステータス

無線LAN基本ステータス			
無線LAN (2.4GHz)	オン	チャンネル (2.4GHz)	9
無線LAN (5GHz)	オン	チャンネル (5GHz)	36
SSID1 (2.4GHz)			
SSID名	F2886S-Z2u7-G	MACアドレス	c2:b0:7b:7f:e6:b1
SSIDスイッチ	オン	受信バイト数 / 送信バイト数	0/6228
暗号化タイプ	WPA/WPA2-PSK-TKIP/AES	受信バイト数/送信バイト数	0/540137
SSID2 (2.4GHz)			
SSID名	SSID2	MACアドレス	c2:b0:7b:7f:e6:b2
SSIDスイッチ	オフ	受信バイト数 / 送信バイト数	0/0
暗号化タイプ	WPA/WPA2-PSK-TKIP/AES	受信バイト数/送信バイト数	0/0

2. 「現在の状態を表示」 ボタンをクリックすると最新の無線 (2.4GHz/5GHz) ステータスを表示します。無線 (2.4GHz/5GHz) ステータスには無線基本ステータス、SSID 名、SSID スイッチ、暗号化タイプ、MAC アドレス、受信パケット/送信パケット、受信バイト数/送信バイト数が含まれます。

4.1.2 無線 LAN 基本設定

このセクションでは、無線 LAN 基本設定の設定方法および無線 LAN 基本設定 のパラメータの設定情報を説明します。

手順

無線 LAN オンオフ 設定

1. ZXHN F2866S のメイン画面で LAN > 無線 LAN > 無線 LAN 基本 を選択して、無線 LAN オン/オフ設定ページを開きます。 図 4-2.

図 4-2 無線 LAN オン/オフ設定

▼ 無線LANオン/オフ設定

無線LAN (2.4GHz) オン オフ

無線LAN (5GHz) オン オフ

設定 キャンセル

2. 表 4-1 に 無線 LAN オン/オフ設定パラメータを一覧します。

表 4-1 無線 LAN オン/オフ 設定パラメータ

パラメータ	説明
無線 (2.4GHz)	オフをクリックすると 2.4GHz 無線 LAN は無効になります。 デフォルト: オン (有効)
無線 (5GHz)	オフをクリックすると 5GHz 無線 LAN は無効になります。 デフォルト: オン (有効)

無線 LAN 詳細設定

1. 無線 LAN 詳細設定 をクリックし、無線 LAN 詳細設定ページを開きます。図 4-3.

図 4-3 無線 LAN 詳細設定

▼ 無線LAN詳細設定

▼ 2.4GHz

チャンネル	自動	▼
モード	(802.11b/g/n/ax)	▼
帯域幅	自動	▼
送信出力	100%	▼
ダウンリンク MUMIMO	<input checked="" type="checkbox"/>	
アップリンク MUMIMO	<input checked="" type="checkbox"/>	
ダウンリンク OFDMA	<input checked="" type="checkbox"/>	
アップリンク OFDMA	<input checked="" type="checkbox"/>	

設定 キャンセル

2. 無線 LAN 詳細設定パラメータを設定します。表 4-2 に無線 LAN 詳細設定パラメータを一覧します。

表 4-2 無線 LAN 詳細設定パラメータ

パラメータ	説明
チャンネル	無線 LAN チャンネルを選択します。デフォルト：自動 <ul style="list-style-type: none"> ● 2.4GHz：自動, 1 ~ 13. ● 5GHz：自動, 36, 40, 44, 48, 52, 56, 60, 64, 100, 104, 108, 112, 116, 120, 124, 128, 132, 136, 140, 144.
モード	無線 LAN 通信モードを選択します。 2.4GHz： <ul style="list-style-type: none"> ● IEEE802.11b のみ ● IEEE802.11g のみ ● IEEE802.11n のみ ● (802.11b/g) ● (802.11g/n) ● (802.11b/g/n) ● (802.11b/g/n/ax) 5GHz： <ul style="list-style-type: none"> ● IEEE802.11a のみ ● IEEE802.11n のみ ● (802.11a/n) ● (802.11a/n/ac) ● (802.11a/n/ac/ax)
帯域幅	無線ブロードバンドの帯域幅を設定します。
送信出力	無線信号の送信電力のレベルです。値が大きいほど、カバレッジが広いことを示します。オプション： <ul style="list-style-type: none"> ● 100% ● 80% ● 60% ● 40% ● 20%
ダウンリンク MUMIMO	チェックボックスをクリックすると、ダウンリンク MUMIMO が有効となります。
アップリンク MUMIMO	チェックボックスをクリックすると、アップリンク MUMIMO が有効となります。
ダウンリンク OFDMA	チェックボックスをクリックすると、ダウンリンク OFDMA が有効となります。
アップリンク OFDMA	チェックボックスをクリックすると、アップリンク OFDMA が有効となります。

3. 変更を適用するには [設定] ボタンをクリックします。

無線 LAN SSID の設定

1. 無線 LAN SSID の設定をクリックして、無線 LAN SSID の設定ページを開きます。図 4-4.

図 4-4 無線 LAN SSID の設定

▼ 無線LAN SSIDの設定

2. 無線 SSID の設定のパラメータを設定します。表 4-3 に無線 SSID の設定パラメータを一覧します。

表 4-3 無線 SSID の設定パラメータ

パラメータ	説明
無線 LAN SSID の設定	無線 SSID の設定機能を有効（オン）または無効（オフ）にします。 デフォルト：オン
SSID 名	SSID の名前
SSID ステルス機能	不正ユーザーを防ぐために SSID 情報を隠します。
暗号化タイプ	暗号化タイプを選択します。 オプション： <ul style="list-style-type: none"> ● セキュリティなし ● WPA2-PSK (AES) ● WPA/WPA2-PSK (TKIP/AES) ● WPA3-OWE ● WPA3 (SAE) ● WPA/WPA2-PSK (TKIP/AES) /WPA3 (SAE) ● WPA2-PSK (TKIP/AES) /WPA3 (SAE)
暗号化キー（パスワードの表示）	機能の有効化にはチェックボックス（目のマーク）を選択すると、暗号化キーが表示されます。 デフォルト：オフ

3. 変更を適用するには [設定] ボタンをクリックします。

4.1.3 無線 LAN 拡張パラメータの設定

この手順では無線 LAN 拡張の設定方法を説明します。無線 LAN 拡張は無線 LAN 拡張パラメータの設定機能を説明します。

手順

アクセス制御-モード設定

1. ZXHN F2886S のメイン画面で LAN > 無線 LAN > 無線 LAN 拡張 を選択して、アクセス制御-モード設定ページを開きます。図 4-5。

図 4-5 無線 拡張

▼ アクセス制御-モード設定

SSID1	<input checked="" type="radio"/> フィルタなし	<input type="radio"/> ブラックリスト	<input type="radio"/> ホワイトリスト
SSID2	<input checked="" type="radio"/> フィルタなし	<input type="radio"/> ブラックリスト	<input type="radio"/> ホワイトリスト
SSID3	<input checked="" type="radio"/> フィルタなし	<input type="radio"/> ブラックリスト	<input type="radio"/> ホワイトリスト
SSID4	<input checked="" type="radio"/> フィルタなし	<input type="radio"/> ブラックリスト	<input type="radio"/> ホワイトリスト
SSID5	<input checked="" type="radio"/> フィルタなし	<input type="radio"/> ブラックリスト	<input type="radio"/> ホワイトリスト
SSID6	<input checked="" type="radio"/> フィルタなし	<input type="radio"/> ブラックリスト	<input type="radio"/> ホワイトリスト
SSID7	<input checked="" type="radio"/> フィルタなし	<input type="radio"/> ブラックリスト	<input type="radio"/> ホワイトリスト
SSID8	<input checked="" type="radio"/> フィルタなし	<input type="radio"/> ブラックリスト	<input type="radio"/> ホワイトリスト

2. アクセス制御モードの設定パラメータを設定します。

表 4-4 に、アクセス制御モードの設定パラメータを示します。

パラメータ	説明
フィルタなし	フィルタは適用されません（デフォルト）
ブラックリスト	LAN ユーザーが特定のアドレスにアクセスすることを拒否します。
ホワイトリスト	LAN ユーザーが特定のアドレスにアクセスできるように許可します。

3. アクセス制御-モードを選択します。変更を適用するには [設定] ボタンをクリックします。

アクセス制御-ルール設定

アクセス制御-ルール設定パラメータを設定します。

1. ZXHN F2866S のメイン画面で **LAN > 無線 LAN > 無線 LAN 拡張** を選択して、**アクセス制御-ルール設定** ページを開きます。図 4-6.

図 4-6 アクセス制御-ルール設定

▼ アクセス制御-ルール設定

▼ 新項目 🗑️

名前

SSID

MACアドレス

👕 新しいアイテムを作成する

2. アクセス制御-ルール設定パラメータを設定します。表 4-5 にアクセス制御ルール設定パラメータを一覧します。

表 4-5 アクセス制御-ルール設定パラメータ

パラメータ	説明
名前	アクセス制御の名前を設定します。
SSID	SSID を選択して ACL を設定します。
MAC アドレス	無線デバイスの MAC アドレスを設定します。

3. 変更を適用するには **[設定]** ボタンをクリックします。

LDPC

1. ZXHN F2866S のメイン画面で **LAN > 無線 LAN > 無線 LAN 拡張** を選択して、**LDPC** ページを開きます。図 4-7.

図 4-7 LDPC

▼ LDPC

無線LAN (2.4GHz) オン オフ

無線LAN (5GHz) オン オフ

- LDPC 設定パラメータを設定します。表 4-6 にアクセス制御ルール設定パラメータを一覧します。

表 4-6 LDPC 設定パラメータ

パラメータ	説明
無線 LAN (2.4GHz)	オン：2.4GHz 帯の LDPC を有効にします。 オフ：2.4GHz 帯の LDPC を無効にします。 デフォルト：オン
無線 LAN (5GHz)	オン：5GHz 帯の LDPC を有効にします。 オフ：5GHz 帯の LDPC を無効にします。 デフォルト：オン

4.1.4 WPS の設定

このセクションでは WPS の設定方法を説明します。

手順

- ZXHN F2886S のメイン画面で LAN > 無線 LAN > WPS を選択して WPS ページを開きます。図 4-8

図 4-8 WPS 設定

▼ WPS

[WPSの設定時に注意すべき点は何ですか？](#)

The screenshot shows the WPS settings interface. At the top, there is a link for help. Below it, the '2.4GHz' section is expanded, showing a 'WPSモード' dropdown menu currently set to '無効'. A blue '設定' button is located at the bottom right of the settings area.

- 表 4-7 に WPS パラメータを一覧します。

表 4-7 WPS パラメータリスト

パラメータ	説明
WPS モード	デバイスがサポートする WPS モードです。有効にする場合には有効を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> 有効：プッシュボタン接続、パネルの WPS ボタンを押して WPS 機能を有効にします。 無効：WPS 機能を無効にします。

- 変更を適用するには [設定] ボタンをクリックします。

4.2 LAN の設定

4.2.1 LAN ステータスの確認

このセクションでは LAN ステータスの確認方法を説明します。

手順

1. ZXHN F2886S のメイン画面で **LAN > ステータス** を選択して、**LAN 情報** ページを開きます。図 4-9.

図 4-9 LAN 情報

▼ LAN情報

イーサネットポート	LAN1
状態	Up/1000Mbps/全二重
受信バイト数 / 送信バイト数	9184034/24702971
受信パケット数 / 送信パケット数	102482/112882
受信ユニキャストパケット数 / 送信ユニキャストパケット数	102377/107889
受信マルチキャストパケット数 / 送信マルチキャストパケ...	14/2392
受信エラーパケット数 / 送信エラーパケット数	0/0
受信廃棄パケット数 / 送信廃棄パケット数	0/0

イーサネットポート	LAN2
状態	リンクなし
受信バイト数 / 送信バイト数	0/0
受信パケット数 / 送信パケット数	0/0
受信ユニキャストパケット数 / 送信ユニキャストパケット数	0/0
受信マルチキャストパケット数 / 送信マルチキャストパケ...	0/0
受信エラーパケット数 / 送信エラーパケット数	0/0
受信廃棄パケット数 / 送信廃棄パケット数	0/0

2. 「現在の状態を表示」 ボタンをクリックすると、最新の LAN ステータスが表示されま
- す。
3. LAN クライアントステータスをクリックすると、LAN クライアントステータス 画面が
- 開きます。図 4-9-1.

図 4-9-1 LAN クライアントステータス

▼ LANクライアントステータス

クライアント-1			
ポート	LAN1	名前	LAPTOP-LS9DU6NV
IPv4アドレス	192.168.1.3	MACアドレス	00:0e:c6:6b:e8:d7
IPv6アドレス	fe80::e497:3f07:e161:50ce		

現在の状態を表示

4. 「現在の状態を表示」をクリックすると、最新の LAN クライアントステータスが表示します。LAN クライアントステータスには、ポート、IPv4 アドレス、IPv6 アドレス、名前と MAC アドレスが含まれます。

4.2.2 LAN (IPv4) の設定

このセクションでは LAN (IPv4) の設定方法を説明します。LAN (IPv4) は LAN (IPv4) パラメータの設定機能を説明します。

インターネットステータスの関連情報には、割り当てアドレス (DHCP)、DHCP サーバー、DHCP バインディング、DHCP ポート制御が含まれます。

手順

割り当てアドレス (DHCP)

- ZXHN F2886S のメイン画面で LAN > LAN > IPv4 を選択して 割り当てアドレス (DHCP) ページを開きます。
- 「現在の状態を表示」をクリックすると 最新の情報が表示されます。図 4-10.

図 4-10 割り当てアドレス

▼ 割り当てアドレス (DHCP)

ホスト名	MACアドレス	IPアドレス	ポート	リース残時間
A23329746	dc:4a:3e:40:dc:cf	192.168.1.3	LAN1	23 時 16 分 20 秒

現在の状態を表示

DHCP サーバー

- DHCP サーバー を選択すると、DHCP サーバー設定画面が開きます。図 4-11.

図 4-11 DHCP サーバー

▼ DHCPサーバー

DHCPサーバー オン オフ

LAN側IPアドレス

サブネットマスク

DHCP割当開始IPアドレス

DHCP割当終了IPアドレス

ISP DNSサーバ オン オフ

プライマリDNSサーバ

セカンダリDNSサーバ

リース期間モード

リース期間 秒

▼ DHCPサーバー

DHCPサーバー オン オフ

LAN側IPアドレス

サブネットマスク

DHCP割当開始IPアドレス

DHCP割当終了IPアドレス

ISP DNSサーバ オン オフ

プライマリDNSサーバ

セカンダリDNSサーバ

リース期間モード

2. DHCP サーバーのパラメータを設定します。
3. 表 4-8 に DHCP サーバーのパラメータを一覧します。

表 4-8 DHCP サーバーパラメータ

パラメータ	説明
DHCP サーバー	デバイスを DHCP サーバーとして機能させ、IP アドレスをクライアント PC またはワイヤレスデバイスに割り当てるには、オンを選択します。
LAN 側 IP アドレス	LAN IPv4 のアドレスを設定します。
サブネットマスク	デバイスのサブネットマスクを設定します。
DHCP 割当開始 IP アドレス	DHCP アドレスプールの開始 IP アドレスを設定します。

DHCP 割当終了 IP アドレス	DHCP アドレスプールの終了 IP アドレスを設定します。
ISP DNS サーバー	オン を選択すると IspDNS 機能が有効になります。 オフ を選択すると IspDNS 機能が無効になります。
プライマリ DNS サーバー	ISP から提供された DNS サーバーの IP アドレスを設定します。
セカンダリ DNS サーバー	ISP から提供された DNS サーバー2 の IP アドレスを設定します。
リース時間モード	リースタイムのモードを選択します。
リース時間	クライアント PC が DHCP サーバーによって割り当てられた IP アドレスを使用している時間を設定します。 リース期限が切れると、プライベート IP アドレスは他のネットワークデバイスに割り当てられるようになります。

4. 変更を適用するには [設定] ボタンをクリックします。

DHCP バインディング

1. DHCP バインディングを選択すると、DHCP バインディング設定画面が開きます。図 4-12.

図 4-12 DHCP バインディング

▼ DHCPバインディング

2. DHCP バインディングパラメータを設定します。表 4-9 lists に DHCP バインディングパラメータを一覧します。

表 4-9 DHCP バインディングパラメータ

パラメータ	説明
名前	DHCP バインディングの名前を設定します。
MAC アドレス	DHCP バインディングの MAC アドレスを設定します。
IP アドレス	DHCP バインディングの IP アドレスを設定します。

3. 変更を適用するには [設定] ボタンをクリックします。

DHCP ポート制御

1. デバイスの DHCP ソースを選択すると DHCP ポート制御設定画面に進みます。図 4-13.

図 4-13 DHCP ポート制御

▼ デバイスのDHCPソース

LAN1	<input checked="" type="radio"/> 制御なし	<input type="radio"/> インターネット	<input type="radio"/> ローカル
LAN2	<input checked="" type="radio"/> 制御なし	<input type="radio"/> インターネット	<input type="radio"/> ローカル
LAN3	<input checked="" type="radio"/> 制御なし	<input type="radio"/> インターネット	<input type="radio"/> ローカル
LAN5	<input checked="" type="radio"/> 制御なし	<input type="radio"/> インターネット	<input type="radio"/> ローカル
SSID1	<input checked="" type="radio"/> 制御なし	<input type="radio"/> インターネット	<input type="radio"/> ローカル
SSID2	<input checked="" type="radio"/> 制御なし	<input type="radio"/> インターネット	<input type="radio"/> ローカル
SSID3	<input checked="" type="radio"/> 制御なし	<input type="radio"/> インターネット	<input type="radio"/> ローカル
SSID4	<input checked="" type="radio"/> 制御なし	<input type="radio"/> インターネット	<input type="radio"/> ローカル
SSID5	<input checked="" type="radio"/> 制御なし	<input type="radio"/> インターネット	<input type="radio"/> ローカル
SSID6	<input checked="" type="radio"/> 制御なし	<input type="radio"/> インターネット	<input type="radio"/> ローカル
SSID7	<input checked="" type="radio"/> 制御なし	<input type="radio"/> インターネット	<input type="radio"/> ローカル
SSID8	<input checked="" type="radio"/> 制御なし	<input type="radio"/> インターネット	<input type="radio"/> ローカル

Note

デフォルトでは、「制限なし」が有効になります。

- 制限なし：外部または内部 DHCP サーバーから IP アドレスが割り当てられます。
- インターネット：外部 DHCP サーバーから IP アドレスが割り当てられます。
- ローカル：内部 DHCP サーバーから IP アドレスが割り当てられます。

2. 変更を適用するには [設定] ボタンをクリックします。

4.2.3 LAN (IPv6) の設定

このセクションでは LAN (IPv6) の設定方法を説明します。

インターネットステータスの関連情報には、割り当てアドレス (DHCPv6)、LAN アドレス管理、DHCPv6 サーバー、静的プレフィックス、DHCP ポート制御、RA サービスが含まれます。

前提条件

プレフィックス委任を設定する前に、設定する IPv6 WAN 接続でプレフィックス委任が有効になっていることを確認します。

手順

割り当てアドレス (DHCPv6) の確認

1. ZXHN F2866S のメイン画面で LAN > LAN > IPv6 を選択して 割り当てアドレス (DHCP) ページを開きます。図 4-14.

図 4-14 割り当てアドレス (DHCPv6) ページ

▼ 割り当てアドレス (DHCPv6)



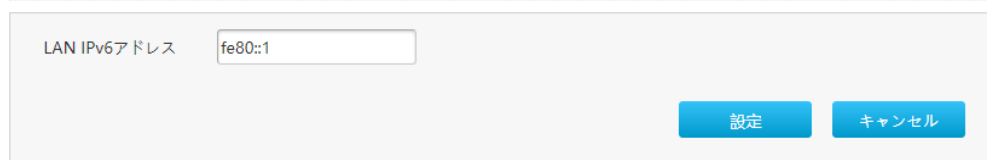
2. 「現在の状態を表示」をクリックすると 最新の情報が表示されます。

LAN アドレスの設定

1. LAN アドレス管理をクリックし、LAN アドレス管理 ページを表示します。図 4-15.

図 4-15 LAN アドレス管理ページ

▼ LANアドレス管理



2. LAN アドレスパラメータを設定します。表 4-10 に LAN アドレスパラメータを一覧します。

表 4-10 LAN アドレスパラメータの説明

パラメータ	説明
LAN IPv6 アドレス	LAN の IPv6 アドレスです。

3. 変更を適用するには [設定] ボタンをクリックします。

静的プレフィックスの設定

1. 静的プレフィックスをクリックし、静的プレフィックスページを開きます。図 4-16.

図 4-16 静的プレフィックスページ

▼ 静的プレフィックス

▼ 新項目 🗑️

名前

プレフィックス / 64

🛠️ 新しいアイテムを作成する

2. 静的プレフィックスのパラメータを設定します。表 4-11 に静的プレフィックスパラメータを一覧します。

表 4-11 静的プレフィックスパラメータの説明

パラメータ	説明
名前	プレフィックスの名前
プレフィックス	IPv6 アドレスとプレフィックス長。GUA プレフィックスのみがサポートされます。プレフィックス長範囲:1 ~ 64。

3. 変更を適用するには [設定] ボタンをクリックします。

DHCPv6 サーバーの設定

1. DHCPv6 サーバー をクリックして、DHCPv6 サーバーのページを開きます。図 4-17.

図 4-17 DHCPv6 サーバーページ

▼ DHCPv6サーバー

[DHCPv6サーバを設定する際に注意すべき点は何ですか？](#)

DHCPv6サーバー	<input checked="" type="radio"/> オン <input type="radio"/> オフ
DNS委任タイプ	<input checked="" type="radio"/> 自動 <input type="radio"/> マニュアル
	DNSパススルー <input type="text" value=""/>
DNSリフレッシュ時間	<input type="text" value="86400"/> 秒
プレフィックス委任タイプ	<input type="text" value="オートセンス"/>

2. DHCP サーバーパラメータを設定します。表 4-12 に DHCP サーバーパラメータを一覧します。

表 4-12 DHCP サーバーパラメータの説明

パラメータ	説明
DHCPv6 サーバー	オンを選択するとデバイスは DHCP サーバーとして機能し、クライアント PC もしくは無線デバイスに IP アドレスを割り当てます。
DNS 委任タイプ	DNS 委任タイプ： <ul style="list-style-type: none"> ● 自動：使用可能なすべての DNS から自動的に選択された 1 つの DNS が委任されます。 ● マニュアル：以前に構成されたすべての DNS から手動で選択された 1 つ以上の DNS が委任されます。
DNS リフレッシュ時間	クライアント PC が DHCP サーバーによって割り当てられた IP アドレスを使用する時間です。 リース期間が終了すると、プライベート IP アドレスは他のネットワークデバイスに割り当てることができます。
プレフィックス委任タイプ	オプション： <ul style="list-style-type: none"> ● オートセンス：使用可能なすべてのプレフィックスから自動的に選択された 1 つのプレフィックスが委任されます。 ● マニュアル：以前に構成されたすべての静的プレフィックスから手動で選択された 1 つ以上のプレフィックスが委任されます。 ● 無効：プレフィックスは委任されません。

3. 変更を適用するには [設定] ボタンをクリックします。

RA サービスの設定

1. RA サービスをクリックして、RA サービスページを開きます。図 4-18。

図 4-18 RA サービスページ

▼ RAサービス

[RAサービスの設定時に注意すべき点は何ですか？](#)

RAサービス	<input checked="" type="radio"/> オン <input type="radio"/> オフ
MTUを指定する	<input type="radio"/> オン <input checked="" type="radio"/> オフ
プリファレンス	中
最小再試行間隔	200 秒
最大再試行間隔	600 秒
M	<input type="radio"/> オン <input checked="" type="radio"/> オフ
O	<input checked="" type="radio"/> オン <input type="radio"/> オフ
プレフィックス委任タイプ	オートセンス

2. RA サービスパラメータを設定します。表 4-13 に RA サービスパラメータを一覧します。

表 4-13 RA サービスパラメータの説明

パラメータ	説明
RA サービス	オン: RA サービスを有効にします。 オフ: RA サービスを無効にします。
MTU を指定する	オンを選択した場合は、MTU 値を入れます。
プリファレンス	デフォルトでプリファレンスは中です。
MTU	最大転送サイズを指定します。
最小/最大試行間隔	最小・最大試行間隔(秒)を指定します。
M, O	M(フラグ)、O(フラグ)のオン/オフを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> M = 0 & O = 0: SLAAC(RA のみを利用したステートレス自動設定)が使用されます。 M = 1 & O = 1: DHCPv6 がアドレスおよびネットワーク情報配布に使用されます。 M = 0 & O = 1: SLAAC がアドレス情報配布に使用されます。ネットワークパラメータ情報の配布には DHCPv6 が使用されます。 M = 1 & O = 0: DHCPv6 がアドレス情報の配布に使用されます。その他のネットワークパラメータは手動で設定する必要があります。
プレフィックス委任タイプ	プレフィックス委任(PD)タイプを指定します。 <ul style="list-style-type: none"> オート: 有効なプレフィックスから自動的に選択します。 マニュアル: 有効なプレフィックスを手動で選択します。

3. 変更を適用するには [設定] ボタンをクリックします。

ポート制御の設定

1. **ポート制御** をクリックして、**ポート制御**ページを開きます。図 4-19.

図 4-19 ポート制御ページ

▼ ポート制御

LAN1	<input checked="" type="checkbox"/> DHCPv6	<input checked="" type="checkbox"/> RA
LAN2	<input checked="" type="checkbox"/> DHCPv6	<input checked="" type="checkbox"/> RA
LAN3	<input checked="" type="checkbox"/> DHCPv6	<input checked="" type="checkbox"/> RA
LAN5	<input checked="" type="checkbox"/> DHCPv6	<input checked="" type="checkbox"/> RA
SSID1	<input checked="" type="checkbox"/> DHCPv6	<input checked="" type="checkbox"/> RA
SSID2	<input checked="" type="checkbox"/> DHCPv6	<input checked="" type="checkbox"/> RA
SSID3	<input checked="" type="checkbox"/> DHCPv6	<input checked="" type="checkbox"/> RA
SSID4	<input checked="" type="checkbox"/> DHCPv6	<input checked="" type="checkbox"/> RA
SSID5	<input checked="" type="checkbox"/> DHCPv6	<input checked="" type="checkbox"/> RA
SSID6	<input checked="" type="checkbox"/> DHCPv6	<input checked="" type="checkbox"/> RA
SSID7	<input checked="" type="checkbox"/> DHCPv6	<input checked="" type="checkbox"/> RA
SSID8	<input checked="" type="checkbox"/> DHCPv6	<input checked="" type="checkbox"/> RA

すべてオン | [すべてオフ](#)

2. DHCPv6 および RA の機能を有効にする為に、対応する LAN インターフェースまたは SSID を選択します。

Note

- **すべてオン**をクリック：全ての IPv6 サービス-ポート制御タイプがオンになります。
- **すべてオフ**をクリック：全ての IPv6 サービス-ポート制御タイプがオフになります。

3. 変更を適用するには [設定] ボタンをクリックします。

4.3 UPnP の設定

この手順では、UPnP 設定機能のパラメータを説明します。

手順

1. ZXHN F2886S のメイン画面で LAN > UPnP を選択し、UPnP ページを開きます。図 4-20。

図 4-20 UPnP

▼ UPnP

UPnP オン オフ

IPv4

アドバタイズメント周期 分

アドバタイズメント継続時間 hop

2. 表 4-14 に UPnP パラメータを一覧します。

表 4-14 UPnP パラメータ

パラメータ	説明
UPnP	オン : UPnP 機能を有効にします。 オフ : UPnP 機能を無効にします。
アドバタイズメント周期	UPnP デバイスがアナウンスパケットを送信する期間です。この期間中に UPnP デバイスがアナウンスパケットを送信しない場合、デバイスが無効であることを示しています。 デフォルトでは、期間は 30 分です。
アドバタイズメント継続時間	アドバタイズメントの TTL。アドバタイズメントは、ルータによって指定された回数だけ転送された後に破棄されます。デフォルト値は 4 です。

3. 変更を適用するには [設定] ボタンをクリックします。

4.4 DNS の設定

このセクションでは DNS の設定方法を説明します。DNS は、DNS パラメータの設定機能を説明します。インターネットステータスの関連情報には、ドメイン名および ホスト名が含まれます。

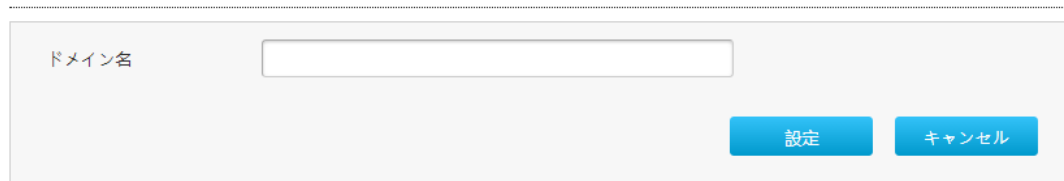
手順

ドメイン名

1. ZXHN F2886S のメイン画面で LAN > DNS を選択し、ドメイン名のページを開きます。図 4-21。

図 4-21 ドメイン名

▼ ドメイン名



ドメイン名

設定 キャンセル

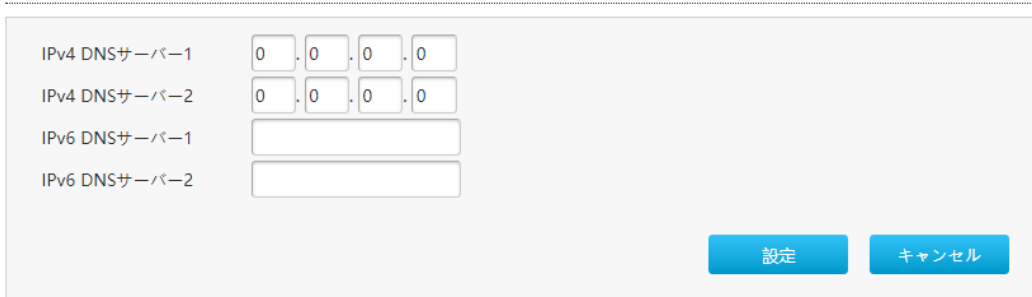
2. テキストボックスにドメイン名を入力します。
3. 変更を適用するには [設定] ボタンをクリックします。

DNS

1. DNS をクリックし、DNS のページを開きます。図 4-22。

図 4-22 DNS

▼ DNS



IPv4 DNSサーバー1

IPv4 DNSサーバー2

IPv6 DNSサーバー1

IPv6 DNSサーバー2

設定 キャンセル

2. ISP から割り当てられた DNS サーバーの IP アドレスを入力します。
3. 変更を適用するには [設定] ボタンをクリックします。

ホスト名

1. **ホスト名** をクリックし、**ホスト名**のページを開きます。図 4-23.

図 4-23 ホスト名

▼ ホスト名

▼ 新項目

ホスト名

IPアドレス

設定 キャンセル

+ 新しいアイテムを作成する

2. **ホスト名**テキストボックスにホスト名を入力し、**IPアドレス** テキストボックスに IP アドレスを入力します。
3. 変更を適用するには **〔設定〕** ボタンをクリックします。

第5章

5. 管理と診断

5.1 デバイス管理

この手順では、デバイスを再起動する方法および工場出荷時のデフォルト設定を復元する方法を説明します。

手順

1. ZXHN F2886S のメイン画面で、**管理&診断** > **システム管理** > **デバイス管理** を選択し、**デバイス管理** のページを開きます。図 5-1.

図 5-1 デバイス管理

▼ リポート機能

この操作完了後、本装置は自動的に再起動します。

注：再起動操作は、現在のすべてのサービスを中断します。

リポート

▼ リセット機能

工場出荷時のリセット：すべてのパラメータ設定が工場出荷時の状態に戻ります。この操作が完了すると、デバイスは自動的に再起動します。

注：この操作が終了すると、すべての設定が初期化され、工場出荷時の状態に戻ります。

リセット

2. この手順では、次の操作を実行できます。

- [リポート] をクリックして ZXHN F2886S デバイスを再起動します。
- [リセット] をクリックして、工場出荷時のデフォルト設定に戻します。

5.2 アカウント管理

ここでは、ユーザーアカウントのパスワードを変更する方法を説明します。

手順

ユーザーアカウント管理

1. ZXHN F2886S のメイン画面で、**管理&診断** > **アカウント管理** を選択し、**管理者パスワードの管理**のページを表示します。図 5-2.

図 5-2 管理者パスワード

▼ 管理者パスワードの管理

The screenshot shows a web interface for managing administrator passwords. It includes a dropdown menu for 'ユーザー名' (User Name) currently set to 'admin', and three text input fields for '旧パスワード' (Old Password), '新パスワード' (New Password), and 'パスワードの確認' (Confirm Password). At the bottom right, there are two buttons: '設定' (Settings) and 'キャンセル' (Cancel).

2. 管理者パスワードの管理のパラメータを設定します。表 5-1 に管理者パスワードの管理のパラメータを一覧します。

表 5-1 ユーザーアカウント管理パラメータ

パラメータ	説明
ユーザー名	ログイン時のユーザー名です。変更出来ません。
旧パスワード	旧パスワードを入力します。
新パスワード	新しいパスワードを指定します。
パスワードの確認	新しいパスワードを確認します。

3. 変更を適用するには **〔設定〕** ボタンをクリックします。

アイドルタイムアウト

1. ZXHN F2886S のメイン画面で、**管理&診断** > **アカウント管理** を選択し、**アイドルタイムアウト**のページを開きます。図 5-3.

図 5-3 ログインタイムアウト

▼ アイドルタイムアウト



タイムアウト 分

設定 キャンセル

2. **タイムアウト**テキストボックスにタイムアウト時間を指定します。（レンジ：1～30）
3. 変更を適用するには **〔設定〕** ボタンをクリックします。

5.3 診断とメンテナンス

5.3.1 ネットワーク診断

このセクションでは診断の方法を説明します。**診断**は、診断設定機能のパラメータを説明します。

手順

1. ZXHN F2886S のメイン画面で、**管理&診断** > **診断** > **実行** を選択し、Ping テスト ページを開きます。 図 5-6.

図 5-6 Ping テスト

▼ 実行

[診断時に注意すべきことは何ですか？](#)

▼ PINGテスト

IPアドレス/ホスト名

インターフェース ▼

診断結果

2. **IP アドレス/ホスト名** テキストボックスに IP アドレスもしくはホスト名を入力し、**インターフェース** ドロップダウンリストから WAN/LAN 接続を選択します。
3. 「**実行**」をクリックし、接続を診断します。システムは、診断結果を出力します。

5.3.2 ループバック検出の設定

手順

基本設定

1. ZXHN F2886S のメイン画面で、**管理&診断** > **診断** > **ループバック検出** を選択し、**ループバック検出**のページを開きます。図 5-7。

図 5-7 基本設定

▼ 基本設定

2. パラメータを設定します。パラメータの説明は、表 5-4 を参照してください。

表 5-4 ループバック検出の基本パラメータの説明

パラメータ	説明
宛先 MAC	オプション: ブロードキャストアドレス、BPDU アドレス
イーサネットタイプ	ポートループバック検出用のイーサネットパケットのタイプです。
送信間隔	ループバック検出パケットを送信する間隔です。
ポート閉じる時間	ポートでループバックが検出されてからポートを閉じるための許容時間です。
ループバック復旧時間	ループバック検出が完了したかどうかを判断するために使用される時間です。この期間内に検出パケットが受信されない場合、ループバック検出は完了したと見なされます。

3. **[設定]** ボタンをクリックします。

スイッチ制御

1. **スイッチ制御** を選択し、**スイッチ制御**のページを開きます。図 5-8.

図 5-8 スイッチ制御

▼ スイッチ制御

LAN1	<input type="checkbox"/> ループバック	<input checked="" type="checkbox"/> アラーム	<input checked="" type="checkbox"/> ポートループ解除
LAN2	<input type="checkbox"/> ループバック	<input checked="" type="checkbox"/> アラーム	<input checked="" type="checkbox"/> ポートループ解除
LAN3	<input type="checkbox"/> ループバック	<input checked="" type="checkbox"/> アラーム	<input checked="" type="checkbox"/> ポートループ解除
LAN5	<input type="checkbox"/> ループバック	<input checked="" type="checkbox"/> アラーム	<input checked="" type="checkbox"/> ポートループ解除

すべてオン | [すべてオフ](#)

[設定](#) [キャンセル](#)



Note

ZXHN F2886S は、デフォルトでは、アラームと自動ループバック解除が有効になります。

- 各**アラームループバック**が検出されたときにアラーム報告するかどうかを指定します。
- 各**ポートループ解除**チェックボックスは、対応するポートでループバックが検出された後、ループバック検出を自動的にキャンセルするかどうかを指定します。

2. 必要なチェックボックスを選択し、「**設定**」をクリックします。

VLAN の選択

1. VLAN を選択し、VLAN のページを開きます。図 5-9.

図 5-9 VLAN

▼ VLAN

▼ 新項目 🗑️

ポート	LAN1 ▼
VLAN ID	<input type="text"/>

+ 新しいアイテムを作成する

2. ループバック検出の為のポートを選択し、VLAN ID を入力し、「設定」をクリックします。

第6章

トラブルシューティング

電源ボタンを押しても前面パネルの電源インジケータが消灯となります。

電源アダプタがデバイスに正しく接続されていません。必ずデバイスに付属の電源アダプタを使用してください。

デバイスの電源がオンになった後、ALARM LED が赤く点滅します。

- 光ファイバが ONT PON インターフェースに正しく接続されていません。
- 光ファイバが破損または損傷しています。
- LED が赤く点灯するか、点滅し続ける場合は、サービスプロバイダに連絡してメンテナンスを依頼してください。

デバイスの電源がオンになった後、前面パネルの LAN LED が消灯です。

- 光ケーブルが ONT PON インターフェースに正しく接続されていません。
- 光ケーブルが破損または損傷しています。
- LED が赤く点灯するか、点滅し続ける場合は、サービスプロバイダに連絡してメンテナンスを依頼してください。

デバイスの電源がオンになった後、LINE LED が消灯または緑色で点滅します。

- XGS-PON リンクが確立されていません。
- ONT に登録されていません。
- インターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。

デバイスの電源がオンになった後、WAN LED が消灯です。

- 対応するインターネットリンクが確立されていません。
- ネットワーク接続用の IP アドレスが取得できていません。

6.1 用語集

ACL

- Access Control List

ALG

- Application Level Gateway

ARP

- Address Resolution Protocol

BPDU

- Bridge Protocol Data Unit

CHAP

- Challenge Handshake Authentication Protocol

DDNS

- Dynamic Domain Name Server

DHCP

- Dynamic Host Configuration Protocol

DMZ

- Demilitarized Zone

DNS

- Domain Name System

DSCP

- Differentiated Services Code Point

DTIM

- Delivery Traffic Indication Message

ICMP

- Internet Control Message Protocol

IGMP

- Internet Group Management Protocol

IPoA

- IP over ATM

ISP

- Internet Service Provider

MAC

- Media Access Control

MLD

- Multicast Listener Discovery

MTU

- Maximum Transfer Unit

NAT

- Network Address Translation

OS

- Operating System

PAP

- Password Authentication Protocol

PPPoE

- Point to Point Protocol over Ethernet

QoS

- Quality of Service

RA

- Routing Area

RIP

- Routing Information Protocol

RTS

- Request To Send

SGI

- Short Guard Interval

SLAAC

- Stateless Address Autoconfiguration

SNTP

- Simple Network Time Protocol

SSID

- Service Set Identifier

TCP

- Transmission Control Protocol

UDP

- User Datagram Protocol

UPnP

- Universal Plug and Play

URL

- Uniform Resource Locator

WPA

- Wi-Fi Protected Access

WPS

- Wi-Fi Protected Setup